

平成29年 火災の発生状況(速報値)

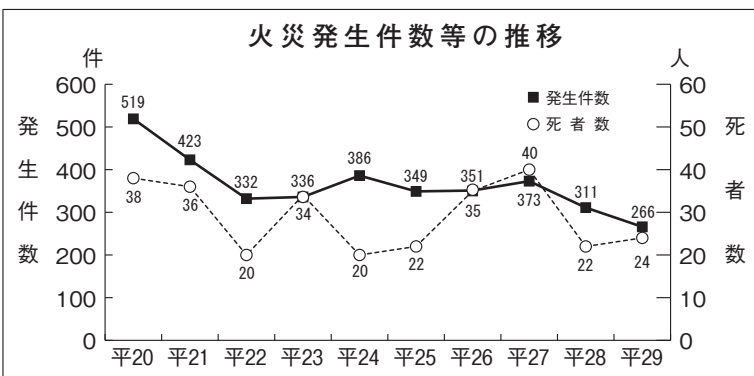
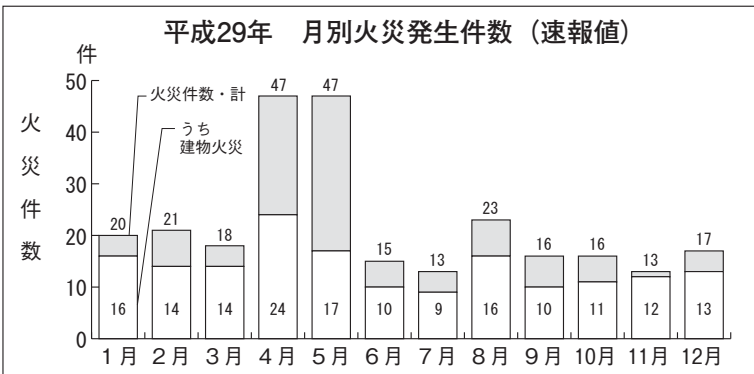
発生件数は過去10年で最低に 死者数は前年を上回る



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



(秋田県総合防災課調べ)

平成二九年中の火災発生件数は二六六件で、前年比四五件減。内訳は、建物一六六件(前年比二五件減)、林野一九件(同一三件減)、車両三〇件(同一二件減)、その他五一件(同一五件減)となっている。また、平成二〇年以降一〇年間の出火件数をみると、平成二〇年に五一九件を記録したものの、概ね減少傾向となっている。

一方、火災による死者数は二四名で、前年から二名増加となった。

春の 全国火災 予防運動
4月1日～4月7日

火の用心

ことばを形に 習慣に

住宅用火災警報器
交換のおすすめ
10年たったら、とりかえろ。

制作 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会 後援 消防庁 全国消防長会
このポスターは、空くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

平成二十九年度全国統一防火標語
火の用心
ことばを形に 習慣に

春の火災予防運動
四月一日～七日実施

平成三〇年春の火災予防運動は、『火の用心 ことばを形に 習慣に』の全国統一防火標語を掲げ、四月一日(日)から七日(土)までの一週間、全県一斉に実施されます。

住宅防火 いのちを守る七つのポイント

- 三つの習慣
 - 寝たばこは、絶対やめる。
 - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 四つの対策
 - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

第41回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会



第四一回消防職員意見発表秋田県

大会(主催・秋田県消防長会)が二月九日(金)、秋田市の「秋田ビューホテル」において行われました。

この大会は、若手消防職員に職責を再確認させ、消防士の在り方を提案させる場として毎年開催されております。

今大会では、県内一二消防本部から選抜された若手消防職員が、日頃の業務の中から問題点を抽出し、その対応策や今後の展望などの考察を加え、それぞれのテーマに沿って、堂々と力強く訴えました。

審査の結果、最優秀賞一点、優秀賞三点が選ばれました。

■最優秀賞

大曲仙北広域消防本部

消防士 吉田 瑞穂
発表テーマ・勇気への再生

■優秀賞

横手市消防本部

消防副士長 高橋 和輝

由利本荘市消防本部

消防士 佐々木 昇平

秋田市消防本部

消防士 政岡 沙綾

意見発表のテーマと発表者名 (発表順)

- 未来を守る
横手市消防本部 高橋 和輝
- フローチャートを活用した消防団員惨事ストレス対策
大館市消防本部 福地 一也
- 百聞は一見にしかず
由利本荘市消防本部 佐々木 昇平
- 出来ないからこそ気づけたこと
秋田市消防本部 政岡 沙綾
- 教科書に載っていない知識
男鹿地区消防本部 吉田 研吾
- 新しい風
能代山本広域消防本部 佐藤 春佳
- みんながヒーローになれる日本を目指して
湖東地区消防本部 伊藤 駿平
- あの日
鹿角広域消防本部 小舘 廉史
- 増やす!「命の救い手」を
にかほ市消防本部 柴田 悠真
- 「大丈夫」の一言を
五城目町消防本部 伊藤 大志
- 勇気への再生
大曲仙北広域消防本部 吉田 瑞穂
- 消防活動とドローン
湯沢雄勝広域消防本部 高橋 空大

最優秀賞の大曲仙北広域消防本部吉田消防士は秋田県代表として、四月二五日(水)、山形市で開催される東北大会に出場します。ここで、最優秀賞並びに優秀賞を受賞した意見を紹介します。

勇気への再生



大曲仙北広域消防本部 吉田 瑞穂

現場到着。「二、二、三、四、五。」玄関を開けると、廊下の奥で倒れている父親に、女性が必死に心臓マ

ッサージをしています。こうした市民の勇気ある行動が少しずつ広がって、救命率向上に直結する大きな力となつていきます。しかし、目の前に倒れている大切な人に救命の手をかけるという非日常の出来事は、私たち救急隊に大きな課題を突きつけました。
「今行きます。もう少し続けてください。」と伝えると、女性はなぜか止めてしまいました。近寄るとその手は小さく震え、救急隊到着の安堵感は全くありませんでした。
病院での処置が落ち着き、女性から話を聞くと「助けてい」と勇気を振り絞って頑張つて続けていまし

だが、救急隊の声を聞くことと返りに、恐怖が続けることが出来ませんでした。父が倒れていた映像や胸を強く押したときの骨が折れる感覚が今でも鮮明に残っています。」と話してくれました。「大丈夫ですよ。あなたの勇氣ある行動はお父さんの力になりましたよ。」と伝えると、それまで強張っていた女性の表情は、恐怖から解放されたように穏やかにになりました。

市民に呼びかけてきた心臓マッサージの陰には、私たち救急隊が想像もできない大きな不安や恐怖が隠れていたのです。

このままでは、せつかくの市民の尊い勇氣が負の経験として埋もれてしまいます。



私は、救急隊による講習の中で、経験したからこそ伝えられる不安や恐怖の思いを市民の言葉で受け取ってもらおうことが、一歩を踏み出す市民の勇氣を力強く後押しして

けるのではないかと考えました。

早速実行してみました。グループホーム勤務の介護士にお願いしました。市民に比べ経験が多いこと、医療従事者ではなく市民に近い存在で

伝わりやすいと考えたからです。

高校生への救急講習で彼女は話し始めました。突然の出来事に焦りを感じたこと。やり慣れた人形にはない骨が折れてしまうこと。それでも、さつきまで笑顔だった入所者を助けたいと涙を流しながら必死に続けたこと。救急隊ではわからない救急車到着までの出来事をしっかりと伝えてくれました。そして最後に、「誰でも最初は、不安です。恐怖です。でも私は今、その不安や恐怖を勇氣に変えることができました。皆さんも不安や恐怖に負けないで、勇氣をもって手を差し伸べてあげてください。」

講習が終わると「最初は他人事のように聞いていた高校生が、真剣な眼差しに変わっていくのがわかりました。初めは不安でしたが、こうやって誰かのためになるのなら、また話をさせてください。」と彼女は言ってくれました。新たに芽生えた心境を語る姿に確かな光明が見えました。忘れた記憶が、まだ経験したことのない人にとつての新しい力に再生できることを証明出来たのです。

「大切な人を助けたい。」と勇氣を振り絞って心臓マッサージをしてくれたあなたの体験を、私はしっかりと受け止めます。そして、多くの市民に伝えます。大切な記憶を新たな力として再生させ、一人ひとりの勇氣を後押しするために。

未来を守る



横手市消防本部
高橋 和輝

「AEDって私たちも使っているんですか？」

避難訓練の指導のために訪れた保育園で、私はそこで働く保育士に尋ねられました。

「もちろんですよ。こちらにもAEDはありますよね？」

「はい、あります。でも使い方がよく分からないんです。」

そのとき私は、以前から何度も耳にしている。保育施設での園児死亡事故のニュースを思い出しました。信頼しているはずの公共施設で、幼い命が・・・ましてや親の居ないところで失われてしまう・・・もしそれが自分の家族だったらと考えたとき、想像を絶する恐怖が私を襲いました。

子供たちは、起きている時間の大半を保育施設の中で過ごしています。子供は社会の宝。その大切な宝を預かる役割を、保育士という職業は担っています。養護教諭が常勤している小中学校と違い、保育士は子供たちの健康状態まで把握し、さらに必要に応じて応急処置まで行わな

ければならず、本来ならば医療に関する高い専門性が要求されるはずですが、それにも関わらず、冒頭の会話にもあるように、施設内にAEDが設置されていることは知っていても、使い方が分からないという状況が起こっているのです。

そこで、私は保育士の救命講習の義務化を提案します。現在、保育士や幼稚園の教諭の養成課程では、救命講習の実習は義務化されておらず、任意のものとなっています。そこで、資格を取得する際の条件、項目として救命講習の受講を取り入れるはどうでしょうか。これにより、今後資格を取得する保育士、幼稚園教諭の全てが救命講習を受講することが出来ます。

同時に、定期的な救命講習の受講も制度化します。例えば、必ず行うことになっている資格免許の更新や、三年や五年等の研修の際にも救命講習を義務とすること。それにより、継続的に講習の内容を頭に入れることができ、応急手当の知識と技術の維持に繋がると考えます。

さらに、より専門的な項目として、小児や乳児の身体的特徴や観察方法等を保育士に指導します。保育士は、講習で学んだことを自らの経験と合わせることで、日常的な怪我や病気の予防についてのより具体的なアドバイスを、保護者に対しても行うことが出来るはずです。

誰よりも多くの子供と接し、誰よりも多くの時間を子供と共有している保育士という知識と技術を身に付けることによって、かけがえのない子供たちの命を守るための大切な役割を果たすことが出来るようになるのです。

私たちの社会にとつて、「子供は「未来」そのものであり、その子供たちの命を守ることはまさに「未来を守る」ことに繋がります。

私は願っています。保育と救命がしっかりと交わることが、健やかな未来を育むことを。そして、希望あふれる未来を守ることを。

百聞は一見にしかず



由利本荘市消防本部
佐々木 昇 平

みなさん、もし一一九番通報された方、バイスタンダーの方が司令員の口頭の説明だけで胸骨圧迫をするのではなく、やり方を目で確認し、よりの確な手法で実施できたなら、救命率の向上に繋がるとは思いませんか？

私は、昨年四月から通信指令課に配属となりました。ある日、CPA事案の通報を受信し、胸骨圧迫の指導をしたのですが、通報者の方がど

れだけ私の言葉を理解して、有効な胸骨圧迫ができていたのかと疑問に思いました。救急隊の帰署後に、現場到着時の様子を聞いてみたのですが、とても有効な圧迫には見えなかったと。思い返してみると自分がCPA現場に出勤した際も、有効な胸骨圧迫をできない人が見受けられました。司令員は、プロトコールに沿ってわかりやすい言葉で口頭指導を行っていますが、そもそも一一九番通報をしなければならぬ緊急時に、司令員の説明通りに実施するのは非常に難しいことなのではないでしょうか。どうか相手にうまく伝える方法がないかと考えていた時に、「百聞は一見にしかず」ということわざが頭に浮かびました。

その時、私はこれだと思いました。耳で聞くだけではなく目で確認しながらできればより有効な一次救命処置ができるのではと。

そこで私が提案するのが、国民の三人に二人が利用しているSNSの一つ「ライン」の活用です。企業で登録しているところも多く、その数は三〇万を超えています。総務省消防庁でも、災害時にライン等のSNSを使用した一一九番通報をテスト実施するとも知りました。そんな現代のコミュニケーションツールであるラインをどのように利用するか。それは消防本部独自の公式ラインアカウントを作成することです。

そしてラインの自動返送機能を使用します。これは、相手が送信したある一定のワードに対して、あらかじめ登録していたものをシステムが、自動的に返信してくれる機能です。例えば相手が「心臓マッサージ」というワードを送信したなら、心肺蘇生の説明動画にアクセスできるURLが自動返信されるように設定します。さらにAED、止血法などのワードも同様に設定すればよりの確な一次救命処置を実施することができるようになります。消防ラインの周知については救命講習での説明や、市の広報誌への掲載、ケーブルテレビ等を利用した広報活動を行います。そして消防ラインのこの機能が広がれば通報前の段階で、バイスタンダーが迅速に有効な胸骨圧迫等ができる場面も増えてくるのではと考えます。また緊急時だけではなく火災予防や熱中症、ヒートショック等の予防法を登録者に配信できるなど幅広い広報活動にも役立ちます。

みなさん考えてみてください。自分が初めて行う行動を、耳で聞いて実施するのか、やり方を目でみて実施するか、もし選択肢があるとすれば、ほとんどの人は後者を選択するのではないのでしょうか。それくらい聞くのと見るのでは、得る情報量と安心感に大きな違いがあるはずですよ。

「百聞は一見にしかず」生死にかかわる場面に遭遇したときに、自分

のするべきことが目に見えることで、一歩踏み出す大きな手助けになればと考えます。一人でも多くの命を助ける為に。

出来ないからこそ 気づけたこと



秋田市消防本部
政 岡 沙 綾

「道具」とは特定の目的を実現しようとする場合に媒介として用いる物的手段のことです。今後、新たな局面を迎える消防組織において、「道具」をその局面脱却への一手段としてみてはどうでしょうか。

平成二七年度から総務省消防庁では平成三八年当初まで全国の消防職員に占める女性消防職員の比率を五パーセントに引き上げるという目標を設定し取り組みを促しています。私が所属する秋田市消防本部の女性消防職員の割合は、約二パーセントとまだまだ低く、今後も女性消防職員の増加が予想されます。

そんな女性消防職員の中でも私は体格的に一番小さく、体力的にも劣ります。しかし、いつも自分に合った最善の方法を考え、色々な工夫をしています。一例として、空気呼吸器を背負う時は、肩バンドを締めすぎるとヘルメットにボンベが当たっ

て上を向きづらくなります。そこで、肩バンドを多少緩く締めていきます。こういった私なりの工夫をして、二年間消防隊として頑張ってきました。

消防職員になって三年目となった私は、救急隊としての活動も増えるようになりました。そんな時、また一つの問題に直面しました。それは、傷病者を乗せたストレッチャーを持ち上げることが出来ない場面があるということです。それ以来、今までの様に自分なりの工夫をして何度も訓練しましたが、なかなか上手くいきません。「出来るまで訓練しろ」消防学校時代に言われた言葉が私に重くのしかかり、先輩隊員の「コツを掴めば大丈夫」という励ましの言葉でさえ苦痛に感じました。そして、無理をして訓練を続けたことで腕を痛めてしまう結果となってしまいました。

そんな時、救急隊の先輩からあるアドバイスをもらいました。それは、救助活動で使うテープスリングというナイロン製の輪っか状の紐を使用するということでした。その方法は、一二センチのテープスリングを一回ひねり、二つ出来た輪の中に両腕を通したすき掛けにします。そして、肩にきたテープスリングに左右の親指を引っ掛けストレッチャーを掴んで持ち上げます。こうする

ことで、たすき掛けにしたテープスリングを介して、力が背中や肩に分散し、全身でストレッチャーを持ち上げるのが可能になります。「消防は力と技術の取得。そのためには出来るまで訓練。」そう思っていた私にとって、「道具を使う。」という工夫は、新たな解決策の発見となりました。

今後、全国的に女性消防職員の割合が増えることは間違いありません。それにより、消防組織にも変化が生じてくるはずですが。その一例が私です。体格的な面で男性消防職員が当たり前に出ることが出来ない。しかし、道具を上手く使用することで、「出来ない」が「出来る」に変わり、自分自身の活動の手助けをしてくれることが分かりました。



この私の経験を「意見発表」という「道具」で全国に知らせ、今後は、様々な工夫を共有できるネットワークという名の「道具」で女性消防職員の活躍出来る場を増やす手助けをしていきたいです。私の挑戦は始まったばかりです。

■発表者の紹介(入賞者を除く)



上段右から

○大館市

福地 一也

○能代山本

佐藤 春佳

○鹿角広域

小館 廉史

○五城目町

伊藤 大志

下段右から

○男鹿地区

吉田 研吾

○湖東地区

伊藤 駿平

○にかほ市

柴田 悠真

○湯沢雄勝

高橋 空大

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880
FAX (0182) (32) 0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183) (42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73)2588

横手市消防団応援の店を

募集しております

職業を持ちながら地域の安全・安心のために頑張っている横手市消防団員を支援するために、お店や事業所等に消防団協力の店として登録していただくもので、平成三〇年二月より募集を開始しました。

「横手市消防団応援の店」とは?
横手市では約2,400人(平成30年2月現在)の消防団員が活動しています。職業をもちながら、地域の安全・安心のために頑張っている横手市消防団員を支援するために、お店や事業所等に消防団協力の店として登録していただき、消防団員や消防団員を支えている家族に料金を対等のサービスを提供していただくことにより、消防団員のモチベーションの向上と新たな消防団員の確保、地域防災の向上につなげていくものです。

消防団員証の交付
横手市消防本部
「消防団協力の店」の登録申請
「消防団協力の店」表示証の交付

消防団員証
消防団員証の交付
「消防団協力の店」の登録申請

特典サービスの創出
・購入金額の7%引き
・FIC(消防)カード
・販促品など
※特典サービスは必要に応じて申請してください。

サービスの対象者と確認方法
・消防団員およびその家族がサービスを受けることができるものとします。
・対象者は「消防団協力の店」を申請します。

消防団協力の店表示証
登録していただいた店舗には「横手市消防団協力の店」表示証を交付し、また、消防団員や消防団員への紹介をいたします。
消防団協力の店表示証見本 (A3 縦: 420mm x 297mm)

消防団員証見本 1 (最新型サイズ)
「消防団協力の店」の特典
・地域貢献による「トータル」
・消防団員と消防団員の家族の店舗利用促進
・新規顧客の獲得
・横手市「A」-Z などと協賛店を紹介します

登録の方法
横手市消防本部総務課で用意している「横手市消防団協力の店登録申請書」に必要事項を記入の上お申込みください(2-10時)。
※横手市「A」-Z から予約が可能です。

【お申込先】 〒013-0060 横手市桑原一丁目1番1号 横手市消防本部総務課(室32-1111)

消防団員や消防団員を支えている家族に料金割引などのサービスを提供することにより、消防団員のモチベーションの向上と新たな消防団員の確保、地域防災の向上に繋がっていくとす

(情報提供) 横手市消防本部



『第二六回全国消防操法大会の出場順が決まりました』

開催日

平成三〇年一月一九日(金)

開催場所

富山県広域消防防災センター
(富山市惣在寺一〇九〇の一)

出場順

平成三〇年二月二七日(火)、日本消防協会において、出場順位の抽選が行われ、秋田県は「ポンプ車の部一二番目」に決定しました。

なお、詳細については四月に開催される、大会運営委員会終了後に日本消防協会から通知されます。

作品募集

平成30年4月2日(月)
～ 5月7日(月)



消防防災科学技術賞

平成30年度

募集区分

▼消防職員・消防団員等による応募

- A. 消防防災機器等の開発・改良
- B. 消防防災科学論文
- C. 消防職員における原因調査事例

▼一般による応募

- D. 消防防災機器等の開発・改良
- E. 消防防災科学論文

表彰

優秀な作品には、平成30年11月に行われる表彰式において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

●一次審査を通過した作品はホームページにて紹介します。●表彰作品の公表は9月頃の予定です。●詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。

問合せ先

消防庁 消防研究センター 研究企画室
TEL:0422-44-8331 FAX:0422-42-7719 E-mail:hyosho2018@fri.go.jp
消防研究センターホームページ: <http://nriid.fdma.go.jp/>

過去の作品例

採水管降圧方式による防洪水槽凍結対策の開発



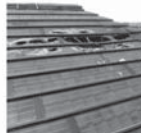
火災動面等を利用した簡易部署位置研修法の一考察



屋外用AED収納ボックスの開発




ホットスポットが起因した太陽電池モジュール火災について



◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第4期幹部教育指揮幹部科分団指揮課程			第63期基礎教育			
平成30年3月3日(土)~4日(日)			教育期間	平成30年3月10日(土)~11日(日)		
37人 (19消防団)			入校者数	17人 (5消防団)		
分団長、副分団長の階級にある者			対象者	入団して概ね3年未満の消防団員		
			集合写真			
消防団名	階級	氏名	入校者名簿	消防団名	階級	氏名
鹿角市	副分団長	齊藤大助		鹿角市	団員	高杉正夫
大館市	分団長	石澤一雄	鹿角市	団員	晴澤茂美	
北秋田市	分団長	木村謙一	男鹿市	団員	蜷川優也	
上小阿仁村	分団長	加賀谷和敏	男鹿市	団員	吉田恭史	
能代市	副分団長	小杉山正	由利本荘市	団員	正木元	
三種町	分団長	関優征	由利本荘市	団員	小沼大悟	
三種町	副分団長	佐々木秋彦	由利本荘市	団員	前川善隆	
男鹿市	副分団長	高橋喜孝	由利本荘市	団員	佐藤友和	
男鹿市	副分団長	原田裕親	由利本荘市	団員	佐藤俊介	
潟上市	分団長	古戸信雄	由利本荘市	団員	三浦直也	
潟上市	副分団長	古戸一実	由利本荘市	団員	阿部洋志	
八郎潟町	分団長	渡部広保	由利本荘市	団員	佐藤勇弥	
八郎潟町	副分団長	金昭彦	仙北市	団員	岩城幸二	
秋田市	分団長	熊谷信一	湯沢市	団員	井上宙	
由利本荘市	分団長	田口明高	湯沢市	団員	齊藤雄輝	
由利本荘市	副分団長	加藤豊	湯沢市	団員	柴田裕基	
由利本荘市	分団長	今野強	湯沢市	団員	佐藤智幸	
由利本荘市	副分団長	阿部一彦				
由利本荘市	分団長	東海林優肇				
由利本荘市	副分団長	長谷山肇				
由利本荘市	分団長	佐々木良一				
由利本荘市	分団長	村上吉和				
にかほ市	副分団長	三浦仁				
にかほ市	副分団長	佐藤明				
にかほ市	副分団長	佐藤浩一				
大仙市	分団長	菅原信一				
横手市横手	分団長	照井貢				
横手市平鹿	副分団長	柴田克弘				
横手市平鹿	副分団長	佐々木茂一				
横手市平鹿	副分団長	柴田康孝				
横手市市内	分団長	佐藤良雄				
横手市大雄	分団長	戸巻敦司				
湯沢市	副分団長	伊藤一				
湯沢市	分団長	後藤英輝				
湯沢市	副分団長	篠田真				
湯沢市	副分団長	佐々木成				
東成瀬村	副分団長	高橋広美				

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

支部情報アラカルト

『水防団活動ヒアリング調査の実施』

〓 由利本荘市消防団 〓

平成三〇年一月二三日(火)、市消防本部大会議室にて、いであ株式会社建設統括本部水圏事業部河川部及び国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部水害研究室から四名の職員が来訪され、水防団活動ヒアリング調査が実施されました。市内の中央部には一級河川子吉川が貫流しており、水防団としての活動について、消防団一〇名と、市危機管理課、市消防本部から三名の担当が参加しました。

出水した調査対象は、平成二三年六月と平成二九年七月の洪水による水防活動で、広範囲にわたる浸水被害もあり、実際に活動した際の資料と、時系列ごと



の水位変化の図面を照らし合わせな



とができ、今後の水害をどう予防するか、方向性を見いだすことができた」と述べられました。



今回のヒアリングで各々の役割について再認識することができ、関係機関と情報共有を図りながら今後の消防団(水防団)活動に生かして被害の軽減に努めてまいります。

(情報提供〓本荘由利にかほ支部)

平成三〇年度

秋田県山火事予防運動

この運動は、山火事が多発する春季において、県民一人ひとりに山火事予防思想の普及を図り、森林資源と自然環境の保全に努めることを目的に実施するものです。

統一標語

火の用心

大きな森を

破壊する

実施期間

平成三〇年四月一日(日)から
五月三一日(木)までの二ヶ月間

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成30年		平成29年			同期比較	
	2月	累計	2月	累計	年計	2月	累計
建物	15	37	14	30	166	1	7
林野	0	0	0	0	19	0	0
車輛	5	5	4	7	30	1	- 2
その他	0	4	3	4	51	- 3	0
合計	20	46	21	41	266	- 1	5
死者数	2	4	3	4	24	- 1	0
負傷者数	5	9	6	10	77	- 1	- 1

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651